

IV

湖西市事業計画



令和6年3月から、浜名湖ガーデンパーク、浜松市フラワーパークを拠点に浜名湖花博20周年記念事業が開催され、期間中には全国各地からの多くの人出が予想される。

この花博20周年事業を環浜名湖が一体となって推進し、賑わいを創出するために、湖西市においても静岡県・浜松市と連携し、湖西市の地域資源を活かした『花の都づくり』に繋がるイベントやツアー等を実施する。



新居弁天海釣公園・海湖館棧橋(空撮)



新居関所



正太寺のツツジ(入出)

第1章

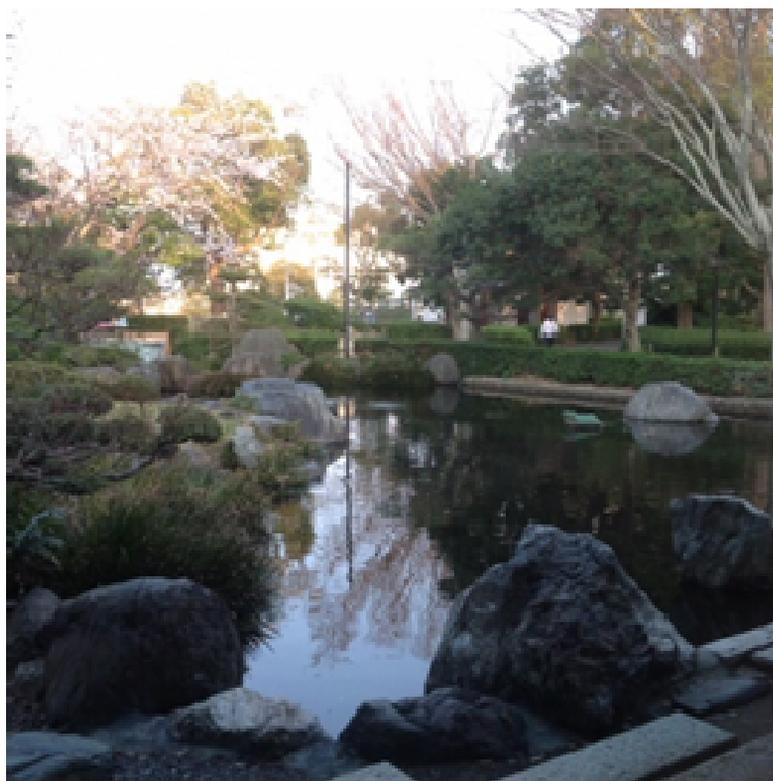
事業計画

■ 市内への栈橋設置と活用・新居弁天地域でのイベント実施

湖西市では静岡県との連携によって、花博特設駐車場として活用が予定される新居町向島荷揚場及び新居関所周辺の2箇所に栈橋を設置。ここから花博会場、新居弁天海湖館栈橋を舟運ルートで結び有機的な浜名湖周遊の仕組みを作り上げ、観光誘客を図る。また、海湖館周辺で“花のマルシェ”などのイベントを計画、新居弁天観光地域再開発事業地（新居弁天公園内）での実施事業とともに、花博20周年事業に彩を添える。

■ 中根庭園整備とまちあるき

湖西市新居町内に所在する故 中根金作 氏（昭和の小堀遠州と称えられた世界的造園家）及び中根庭園研究所が手掛けた日本庭園、緑道、花壇などの再整備と、観光案内看板の設置を実施する。また、新居関所から中根庭園、市内浜名川沿いの緑道などを巡る“まちあるき”を計画するとともに、湖西市内の花・緑を紹介するパンフレットを造成、花博会場とともに一体的な活性化を目指す。

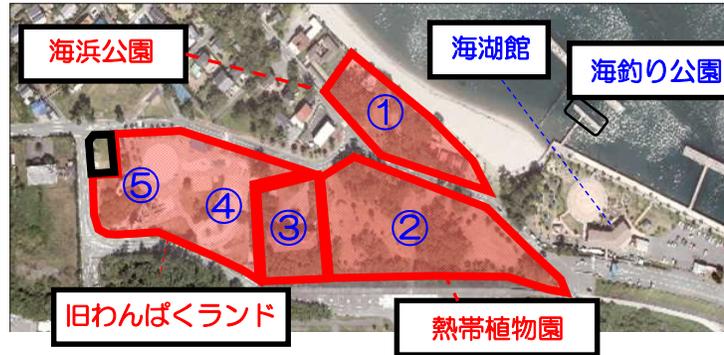
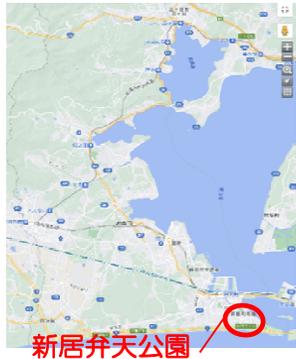


中根庭園（新居図書館）

観光振興の推進(新たな観光拠点の整備)

新居弁天公園の再整備

新居弁天公園を年間を通じて賑わいが生まれ、市内外から人が集う魅力のある観光拠点に再整備



① イベントマルシェエリア

- キッチンカーと飲食ベンチスペースを設置
- 地元グルメや農産物等を販売するマルシェを開催



②③ キャンプエリア・林間ピクニック広場

- 通常のビジターキャンプエリア、車が入れるオートキャンプエリア、ペット同伴キャンプエリアを整備

④ センターエリア・ドッグランエリア

- ランドマークとなるカフェ併設のセンターハウスの他、イベントカースペース、飲食ベンチスペースを設置
- 複数のドッグランと温泉足湯を整備



⑤ 駐車場エリア

- 200台分の駐車場を整備。公園来場者の他、釣り客等も利用可能

湖の見えるマルシェ (KOSAICHI)

目標

遠くからでも足を延ばして行きたいと思ってもらえる名物マルシェに育てる

マルシェの目的

- 人と人、人と地域とのつながりを創出する場づくり
- 浜松市と豊橋市にはない湖西市の魅力の発信
- 定期的な開催による地域の憩いの場づくりと観光スポット化

「職住近接」の推進

